

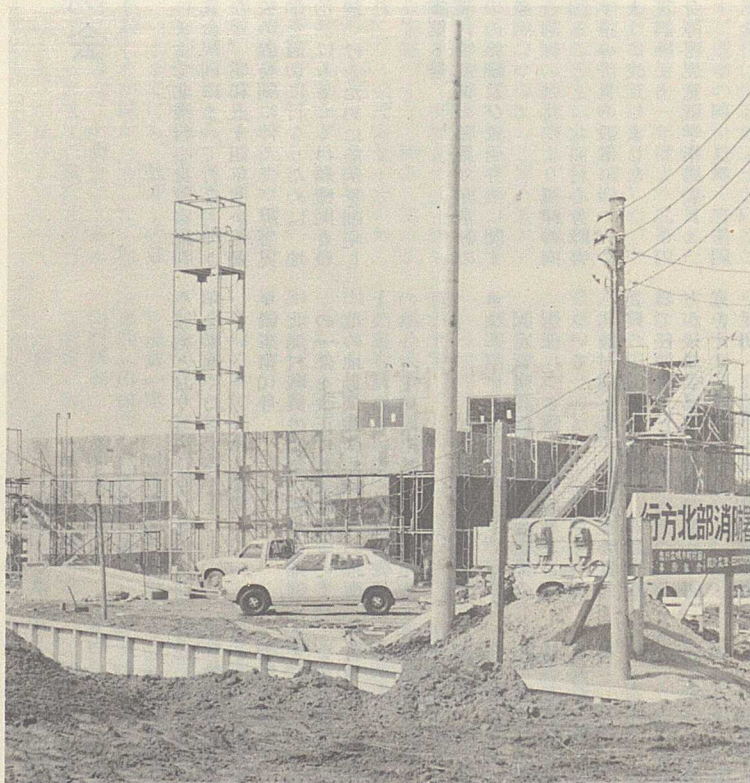
きたうら

村の人口と世帯

昭和51年2月末日住民基本台帳調

		前月比
世帯数	2,380	増 1
人口	11,212	増 14
男	5,566	増 11
女	5,646	増 3

昭和51年3月31日発行 第180号 ◆発行と編集 茨城県行方郡北浦村役場 ☎02915 — 2 1 1 1



小幡地内（六十塚）に急ピッチで工事が進められている「行方北部消防署」。5月の完成がまたれています。

昨年と比べ

三億一千九百万円の伸び

村議会定例会で

51年度予算などを可決

児童を交通事故から守りましょう



「運転手さん」
あなたのハンドルで
こどもさんを守って
あげましょう。

一般・特別会計で対前年比27・4%増
当初予算

4億8千6百31万6千円

で、消費的経費を節減し、行政の効率化に努力

昭和五十一年度予算説明

村長は、昭和五十一年第一回村議会定例会において、諸般の事情と一般会計並びに国民健康保険特別会計予算の説明をいたしました。つきに、その全文を登載します。

一般会計は
十一億五千二百万円

諸般の事情について

まもなく五十年度会計も閉鎖されるわけですが、計画事業等円滑に進められておりますことは、各位のご協力の賜で感謝に堪えないところであります。

ご承知のとおり、エネルギー危機以来総需要抑制が国の施策として行なわれ、インフレ対策である物価の沈静等その効果は現れましたが、反面輸出の不振、内需の沈滞から企業倒産があとを断たない状況で、失業者は百五十万人ともいわれております。

これら状況から本年度国の経済見通しと経済運営の基本的態度は景気の着実な回復と雇用の安定を図るため、財政支出の面では公共事業、住宅投資に重点をおき、貿易拡大のための輸出金融枠を広げること、景気回復に伴うインフレが再燃することのないよう努力すること、それには五十年度成果を踏まえ五十一年度中は一層の安定化をはかり、消費者物価の上昇

率は年度中八%程度とするよう努力するとう二大目標のもと財政的にテコ入れし、景気浮揚をはかるうとしております。すなわち、経済見通しについては名目十三%実質成長五・六%、消費者物価八%を目標としております。

そうしたことから、大幅な国債発行により一般会計予算は二十四兆二、九六〇億と前年当初予算に比し、三兆七二億増で、伸び率は四・一%の大型予算を編成し、本年度は七年ぶりの総合予算主義で今後の補正はされない方針であります。

一方地方財政計画についても、その規模は二十五兆二、五九五億で前年計画に比し一七・二%増であります。計画に比し二兆六千二〇〇億の財源不足を生じるわけですが、国に準じ景気浮揚のための公共投資の必要性からこれら財源は政府資金の交付税への借入れにより一兆三千七〇〇億と、なお不足額一兆二千五〇〇億については財源不足対策地方債として許可さ

れます。また、自動車諸税の引き上げ、住民税の引上げ等もなし、地方財政を補うこととなりました。村財政につきましても、財源の中核をなす交付税の伸びと地方債の大幅な許可により、懸案であった生活環境整備のための道路舗装改良事業、義務教育施設整備事業及び農道整備事業等それぞれ九五から百分の充当率と未だかつてない措置で、不況とは裏腹に財源的には恵まれそうです。

爾後に財政硬直化を招かないよう措置せざるを得ませんが、国の施策に順応して行政を進めることが過去の行政から最も良いと思われるので、充分これら資金を活用し住民福祉を進めたいと存じます。特に高度経済成長も減速期に入り、今後は安定軌道に乗るものと思われ

重点事業は

1. 幼児教育の推進
2. 教育施設の充実
3. 農林の振興
4. 道路舗装
5. 広域行政事業の推進

つきに本年度の重点施策を申し上げます。

第一点は幼児教育の推進であります。すでに三育幼稚園が閉園し、公立幼稚園として第二年度を迎えるわけであり、

爾後に財政硬直化を招かないよう措置せざるを得ませんが、国の施策に順応して行政を進めることが過去の行政から最も良いと思われるので、充分これら資金を活用し住民福祉を進めたいと存じます。特に高度経済成長も減速期に入り、今後は安定軌道に乗るものと思われ

将来義務教育になるであろうことを前提として一村一園で公立化に踏み切り、父兄負担の軽減を図ってまいりました。当時は園児教育をとおして父兄、住民に融合した三育教育に存置の動きがありましたが、先生方の熱心な教育に三育に劣らない素晴らしい成果を上げております。

本年の就園児は百五十人で対象児の九七%が入園する予定であります。特に園児とふ

借財の中

51年度
当初予算
総額1

第三点は補助事業による農林の振興であります。

財源依存度の大きい本村としては、勢い選択による補助事業の振興を推進せざるを得ません。

したがって、本年も昨年に引き続き農道行戸一地区、行戸二地区、平須賀、繁昌線等一、八四二mと小貫南原線の用地買収及び基幹農道舗装と

しての農免道路整備を行ないます。

また、一般営農振興事業としての高エネルギー地帯育成のための北浦西部畑作改善組合の第二次事業としての整地かん水、格納庫建設事業。

北浦北部飼料生産施設利用組合事業としての乳牛飼料合理化による生産費低減をはかるための、緊急粗飼料増産対策事業。

由園都市建設事業としての成田、帆船倉線の舗装四五六mの実施。

農村工業導入事業としての両宿公民館敷に建設される就業改善センター等、補助事業による農林振興をはかります。

第四点は生活環境整備のための道路舗装を推進いたします。

すでに村道については、議員各位の協力により舗装を前提とした直営改良工事を進めてまいりましたが、総需要抑制にさえざられ起債等の不振から遅れておる現状であります。

幸い本年度は、公共事業投資による景気刺激から市町村道に対する起債が許可される見通しでありますので、改良済路線について完全舗装を行ないます。

しかし、現在貸付方針が明らかにになっておりませんので、今後の補正で措置したいと存じます。

当初舗装計画は一般財源で人家密集地区として生活環境整備上緊急を要する三和富士

第五点は広域行政事業の推進であります。

すでにご承知のとおり、広域消防については村内小幡地内に行方北部消防署が着工され、この五月に完成の運びとなり、この五月で、飯庁舎である麻生町より移転し危険物取締り、予防査察、救急業務等が一層強化されます。

特に交通事故、急患等救急業務は迅速が要求されますが、開署以来署員の迅速な救急業務が住民に受け、事故家族から感謝されておるところであります。

本年度は署員の二次募集がすでに進められ、四月に採用され、また、ごみ処理についても成田ごみ捨て場が埋めつくされ、近いうちに閉鎖されることになり、麻生町のこみ処理施設利用について行政指導を進める所存であります。

また、ごみ処理についても成田ごみ捨て場が埋めつくされ、近いうちに閉鎖されることになり、麻生町のこみ処理施設利用について行政指導を進める所存であります。

続いて一般会計予算の歳入、歳入についてご説明申し上げます。

村税

村民税は法人、個人の均等割税額の引き上げが予定されていますが、所得割課税が前年当初対象者一、八五〇人であったものが一、三三〇人と減少しましたのでは前年とどおりの課税で見込みました。

固定資産税は、土地、家屋の課税標準額が見直され増収が期待されますので約六、九〇〇千円を前年当初予算より増額いたしました。

また軽自動車税、たばこ消費税、電気税、特別土地保有税については、前年実績を勘案計上し、村税収入については、前年当初比九・五%増の一、二六、四一三千円を見込みました。

地方譲与税

地方財源の落ち込みから新たに地方道路譲与税が配分されることになり、自動車重量譲与税と合せ前年当初比六六・七%増の二五、〇〇〇千円を見込みました。

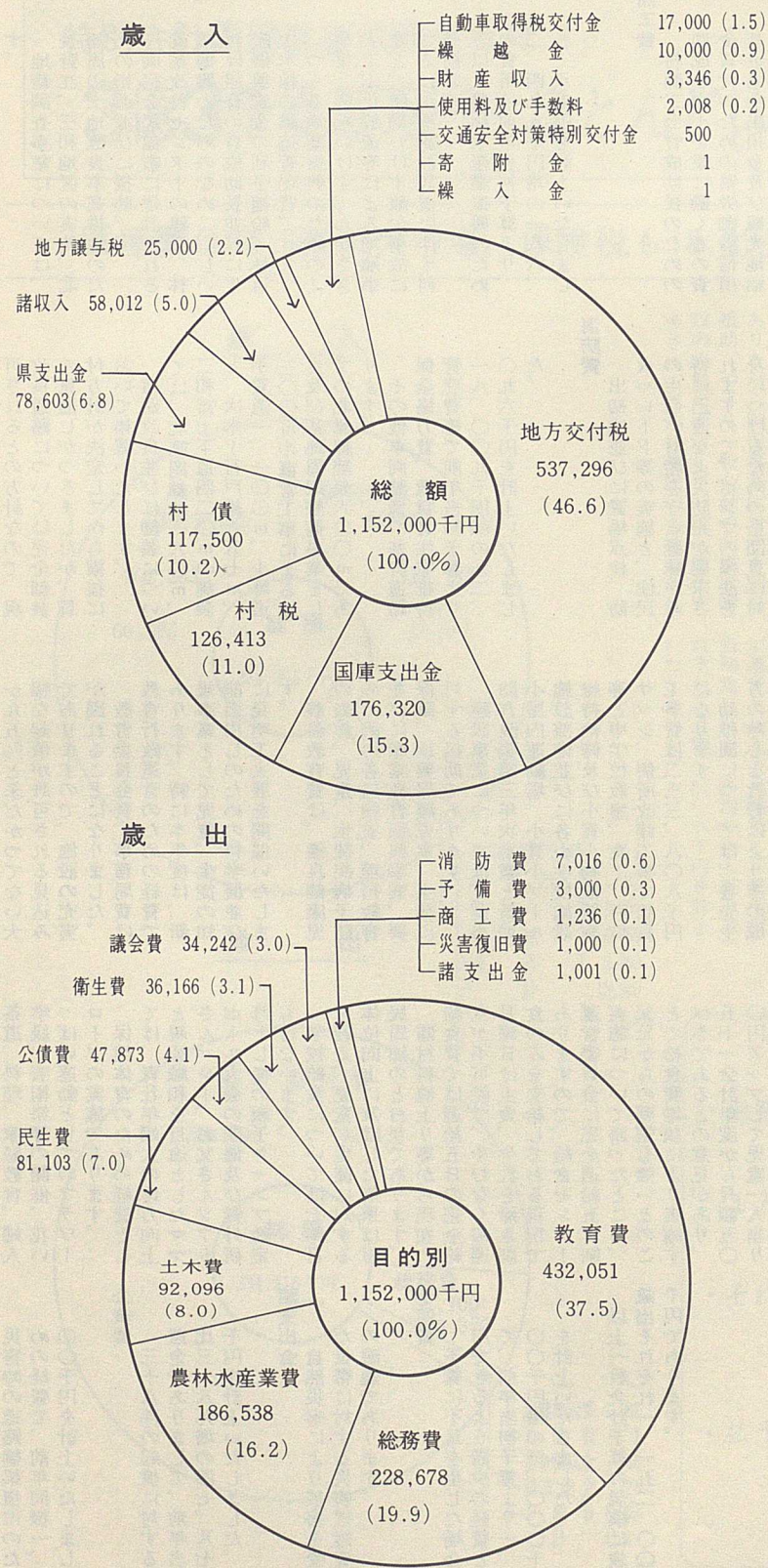
自動車取得税交付金

自動車の販売により左右されますが、本年度の景気見通しからあまり期待がもてないの、前年実績を勘案し、前年当初比一三・三%増の一七、〇〇〇千円を計上いたしました。

地方交付税



▲ゴールめざしていっしょうけんめいかけます。
この園児らのために、「幼児教育」を村政の第一の重点施策にしています。



農林水産業費
本村産業で最も就業率が高い農林業でありまして振興に努めなければなりません。来年三月に農業委員が改選

また、母子推進事業としての妊婦、乳児、二才児等検診母親としての育児教養等の教室開設と推進員によるこれ等事業補助者としての活動費等で、ほぼ前年通りの三六、一六六千円を計上いたしました。

黄萎病、イモチ、ウンカ共同防除のための農業空中散布の実施、農振地域における整備計画に基づき、高効率農具組織育成事業と併せ畑作改善組合二年次事業としての高効率畑作団地造成事業を総経費一九、四一十千円で（整地、かんがい排水、機械格納庫）実施するとともに、小規模養蚕団地育成強化対策事業としての桑園造成補助事業等が主な農業振興事業であります。

その他水田裏作としての飼料作物栽培並びに麦の自給自足推進のためのモデル自作集団奨励事業も行ないます。また、畜産奨励のための中家畜に対する最も飼育上危険の多い豚コレラ防疫事業については、北浦村家畜衛生指導協会助成により行ないます。大家畜については、乳牛、肥育牛の事故防止としての健康検査、乳牛の結核、ブルセラ病検査、飼料作物自給化の

ための生産振興対策事業、乳牛緊急組飼料増産総合対策としての飼料合理化による生産費低減のための機械化導入事業等があります。補助事業による農道改良は、継続事業としての繁昌、行戸一地区、二地区、平須賀線舗装等で、八四二m並びに南原線の買収及び完成農道に対する維持補修、田園都市建設事業としての成田、帆津倉線四五六mの舗装化等でありま

また、母子推進事業としての妊婦、乳児、二才児等検診母親としての育児教養等の教室開設と推進員によるこれ等事業補助者としての活動費等で、ほぼ前年通りの三六、一六六千円を計上いたしました。

国庫支出金
児童手当、老人医療費、要小防音改築事業、新城小屋内運動場、小貫小プール建設事業補助及び国民年金、児童手当事務、農業者年金業務委託金等で前年当初比一〇・二・六％増の一七六、三二〇千円を見込みました。

これが主な補助金の増は、要新城、小貫小の学校施設整備事業によるものであります。

歳入
一般歳計現金預金利子、しいたけ振興資金元利収入、国民年金印紙売却料、各種予防接種、検診、田園都市建設事業、給食費等納付金で、前年

大部分が管理運営的経費でありまして、特に文書タイプについては外注により合理化をはかるため、試みとして委託料を五〇〇千円計上しました。

民生費
社会福祉の中核をなすもので、老人、乳幼児、重度身心障害者等医療無料化事業並びに児童福祉のための児童手当に児童福祉に対する大きな比率を占めております。これら経費は国、県、村による負担で行なわれるわけでありま

環境衛生事業のごみ処理については、麻生町外一町一村ごみ処理組合で集収処理をしております。最近集収指定日におけるごみ、廃品も多くなっておりますが、ごみ捨場利用も多く、借用場所も埋めつくされま

使用料及び手数料
幼稚園入園料及び保育料の減免該当児が増加したことにより、前年当初予算より五、一七千円減りました。

その他、戸籍、住民登録、事務手数料については、前年実績を見込み二、〇〇八千円を計上いたしました。

歳入
計画事業に変更があった場合の財政調整基金からの繰入れの道を構じ一十千円を計上いたしました。

歳出
この二年の総需要抑制政策により、インフレは沈静化したといえ、物価の動向により年々人事院勧告がなされ、人件費の歳出に占める割合が増加しております。これは事実であります。特に本年度は、一般研修旅費の見送り、あるいは需用費中食糧費の削減、村内各種団体に対する補助金等前年踏襲など各種団体長会議の協力を得て消費的経費を抑え、行政需要に答えるよう努力いたしました。

民生費
社会福祉の中核をなすもので、老人、乳幼児、重度身心障害者等医療無料化事業並びに児童福祉のための児童手当に児童福祉に対する大きな比率を占めております。これら経費は国、県、村による負担で行なわれるわけでありま

環境衛生事業のごみ処理については、麻生町外一町一村ごみ処理組合で集収処理をしております。最近集収指定日におけるごみ、廃品も多くなっておりますが、ごみ捨場利用も多く、借用場所も埋めつくされま

交通安全対策特別交付金
前年実績を考慮し五〇〇千円を見込みました。

財政収入
財政調整基金、庁舎建設基金の積立金、不用品売却収入等で、前年当初予算より、一、二七四千円増の三、三三四千円を見込みました。

歳出
この二年の総需要抑制政策により、インフレは沈静化したといえ、物価の動向により年々人事院勧告がなされ、人件費の歳出に占める割合が増加しております。これは事実であります。特に本年度は、一般研修旅費の見送り、あるいは需用費中食糧費の削減、村内各種団体に対する補助金等前年踏襲など各種団体長会議の協力を得て消費的経費を抑え、行政需要に答えるよう努力いたしました。

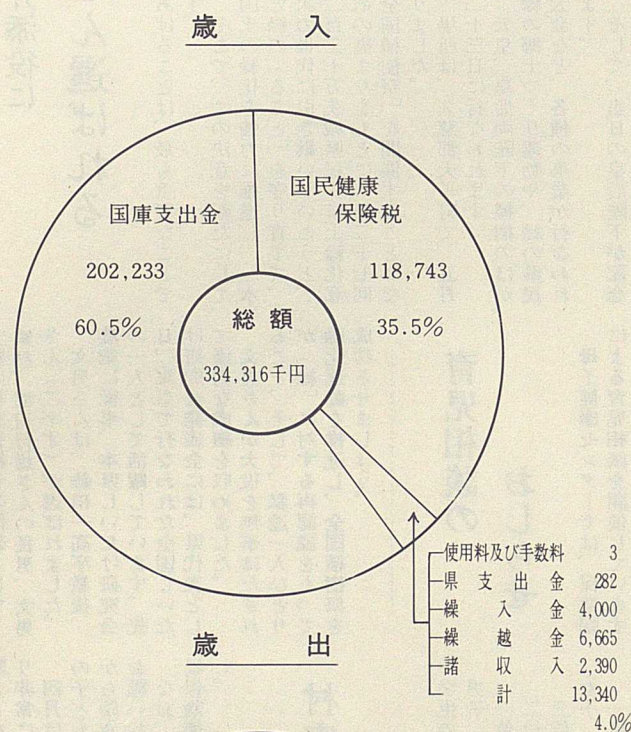
民生費
社会福祉の中核をなすもので、老人、乳幼児、重度身心障害者等医療無料化事業並びに児童福祉のための児童手当に児童福祉に対する大きな比率を占めております。これら経費は国、県、村による負担で行なわれるわけでありま

環境衛生事業のごみ処理については、麻生町外一町一村ごみ処理組合で集収処理をしております。最近集収指定日におけるごみ、廃品も多くなっておりますが、ごみ捨場利用も多く、借用場所も埋めつくされま

特別会計国民健康保険予算は

3億3千4百万円・ほとんどは医療費などへ

医療費は32.6%の大巾増、保険税も18.3%増ときびしい状況



特別会計国民健康保険事業について説明いたします。

地域住民の医療福祉に大きな使命をもつ国民健康保険制度は、社会経済の高成長時代から低成長期を迎え、財政的にかつてない厳しいものとなっております。このこととはとりもたず老人医療の無料化、高額療養費の制度化、医療需用の増大など制度そのものの論議はありますが、景気の停滞による所得の伸びが期待できない状況にあるからであります。

しかし、この厳しい財政環境にありながら国保事業に対する国の援助、つまり一般会計の助成は財政の実態に即応して一段と強化充実され、高福祉時代への施策が強く

くうち出されております。

すなわち、国の一般会計予算が対前年比一四％の伸びに対し、実に二・二％の増加となっており、社会福祉費予算の中核としての地歩を固めたものと受けとれるわけであります。

しかしながら、国の財政的なてこ入れがなされなくても、年々増大する医療費をまかなうには決して楽観できないきびしいものがあります。

こうした状況下でできる限り元費をはぶき、効率よい国保事業が運営されるよう配慮し、前年度当初比二九・一％増の歳入歳出それぞれ三三四、三二六千円を計上いたしました。

一年間にこんなにも

- ・お医者さんにかかる回数は 39,936回
- ・1人当りにしたら 4.6回
- ・それにかかるお金は
 - 1人では 47,577円
 - 1世帯では 209,024円
- ・払う保険税はいくらでしょう
 - 1人では 13,931円
 - 1世帯では 61,206円

地籍調査事業については、長野江、三和地区の実施、北浦周辺土地改良事業推進のための指導並びに援助。

両宿公民館敷に建設される就業改善センターの建設、林業振興のためのなめこ、しいたけ組合の育成助長並びに生産振興資金の利子補給、林道次木線の維持管理費。

つくる漁業振興のためのえび、鮭、鮭網いけす、わかさぎ人工ふ化放流等による増殖事業と、鯉網いけす酸欠事故によるばつ機施設設置に伴う利子補助。

以上農林水産業振興のための費用は前年当初予算より、二、四九千九百円増の一八六、五三九千円を計上いたしました。

可されるところの方針なので、現改良道路については完全舗装の見通しがつきました。が、貸付方針が決定してから爾後に、道路改良並びに舗装について、北高岡線約一八〇m、三和富士下道四二〇mの舗装と、次木、戸線六五七m、手賀道一、一〇〇m、小峰道三〇〇mの直営工事による改良及び基盤周辺整備事業としての北原線舗装六〇〇mであります。

その他車両整備、基幹道路保全協力費、教職員住宅維持管理費等で前年当初予算より一八、〇〇九千九百円減の九二、〇九六千円を計上いたしました。

が九五％と未だかつてない大幅な起債が許可される見込みでありますので、施設の充実が図れることになりました。

教育委員会費、事務局費は、教育行政運営のための経費であります。特に本年度は、新規事業として児童、生徒の知能引出しのための科学展並びに発明工夫展を開催いたしました。

義務教育費は、優良健康児の表彰、児童、生徒疾病予防のための各種検査、理科教育並びに産業教育振興事業、要保護、準要保護児童、生徒に対する援助であります。

建設事業については、要小防音改築第三事業と新城小屋内運動場、小貫小プール施設整備並びに各小学校施設維持補修及び小貫小物置新築等と中学校教室、廊下、戸口サッシ、便所改修工事等請負工事費は二二三、八〇八千円になります。

幼稚園については、各先生方の熱心な教育によりその成果を上げておられることは周知のとおりであります。

特に本年度は、父兄会等ありまして椅子等がそろっておりませんので、これが購入と園児のねんど細工台等備品の整備並びに通園バス等の経費であります。入園児が一五〇名になりますので、学級増により、より良い教育を進めたいと存じます。

社会教育については、本年度も前年度踏襲の事業で、青年団、婦人会の育成、生花、

茶道、料理、家庭教育、婦人学級、芸術祭等の開催、花いっぱい運動としてのフラワールードの実施であります。

保健体育のための経費としては、青壮年婦人の体力向上と親睦融和を目的としたママさんバレー、お父さんソフトボール大会の開催及び野外研修としての親子キャンプ教室も行ないます。

学校給食については七年目を迎へ、児童、生徒に対する体位向上に及ぼした効果は村民周知のとおりであります。

賄材料値上り等から現在の給食費では週給五日の完全給食が不可能で、やむなく毎週月曜日は主食、牛乳を除き副食のみを支給してある現況でありますので、給食センター運営委員会に完全週給五日制実施について諮ったところ、父兄からの要望も強いところとて給食費増額により実施すべきであるとの意見があり、五十一会計年度から月額五〇〇円アップして児童一人当たり二、六〇〇円、生徒一人当たり二、八〇〇円の徴収により、週給五日制の完全給食を実施することにいたしました。

また汚水処理についても、果から浄化槽設置について要請されておりますので、排水処理施設について建設することといたしました。

これら教育費は前年当初比九五・四％増の四三二、〇五一千円を計上いたしました。

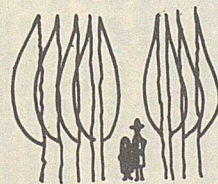
災害時の道路橋梁復旧のための経費で、前年同様一、〇〇〇千円を計上いたしました。

公債費 三十八件の起債に対する償還金でありまして、前年当初比三・八％増の四七、八七三千円を計上いたしました。

諸支出金 自然災害により被害を受けた世帯に対する災害援護資金の融通であります。

予備費 予算に不足を生じた場合使用できるよう最少の経費として、前年当初予算より一、〇〇〇千円増の三、〇〇〇千円を計上いたしました。

以上一般会計予算の規模は歳入歳出それぞれ一、一五二、〇〇〇千円であります。



全国植樹祭

皇后陛下の植樹介添役に

郡司文男さん選ばれる



郡司さん

あげることは、最も重要なことである。そこで、この決意を新たに、

国土の緑化を強力に推進し、「水と緑のふるさと」を守り育て、次の世代に引き継いでいこうと、二百三十万茨城県民の県土緑化意欲の高まりをもとに「第二十七回全国植樹祭」を開催することになりました。

場所は、久慈郡大子町で、五月二十三日に行なわれます。

この恵まれたふるさとと自然環境も、近年の急速な都市化、工業化の進展に伴って、いま、大きく、その姿を変えようとしています。このようなき、みどり豊かな自然の大地に、心身ともに健康で明るい生活ができる環境をつくり

成田ごみ捨場

四月いっぱい閉鎖

皆さんにご利用いただいています。村営成田ごみ捨場は、ごみによる埋立がほぼ満杯となり、四月三十日限りで閉鎖いたします。

その後のごみ処理については、燃えるものと燃えないものに区別して、ビニール袋・紙袋等に入れて、部落内の指定の収集場所へ出してください。収集日は、毎週水曜日と土曜日の朝です。また、麻生町新原のごみ処理場へ、直接持って行っても結構です。

植樹を行なう介添役として、県内多数の林業後継者の代表として、繁昌、郡司行雄さんの長男、文男さん（二十才）が選ばれました。文男さんは、銚田一高卒業後、農業に従事、本県しいたけ研究会の一人として活躍しています。先日、東京で行なわれた全国しいたけ研究会発表会には、県代表として優秀な成績を収めました。文男さんが大役を無事はたされることが、そして、私達一人ひとりが「緑」に対する再認識をもつて、緑化運動を推進し、全国植樹祭を成功させましょう。

育児相談の

お知らせ

母子健康センターでは、保健婦による育児相談を開催しています。赤ちゃんの育て方、栄養相談、離乳食相談などについて、お気軽におでかけください。

毎月第一・第三月曜日
午後一時～三時
母子健康センター

やめよう

犬の放し飼い

最近、犬の放し飼いが目立って多くなりました。犬は、法律によって、つないで飼うことが飼主に義務づけられています。放し飼いをしますと、隣

近所に迷惑をかけるばかりでなく、野犬となつて、数頭の群れをつくり非常に危険です。四月は新入学期です。登下校時の子どもを、これらの野犬の危害から防止するため、飼主の協力をお願いいたします。なお、いらなくなった犬は、役場保健衛生課まで連絡してください。

保健衛生課

村内卓球

大会の結果

小学生の部

男子

- 一位 宮内 芳孝（新城）
- 二位 羽生 博之（新城）
- 三位 友常 政雄（津澄）

女子

- 一位 柳町 栄子（新城）
- 二位 馬場よね子（新城）
- 三位 河野 利枝（津澄）

一般男子の部

- 一位 茂木 伸治（繁昌）
- 二位 石井 久雄（山田）
- 三位 石橋 徹男（北高岡）

一般男女の部

- 一位 菅谷はる子（玉造）
- 二位 前島 文男（山田）
- 三位 河野 初江（三和）

広域消防

発足から一年

昭和五十年四月にスタートした広域消防も、一年を迎える事になりました。昨年の主な業務としては、次のとおりです。

- 5月 麻生町麻生公民館を仮庁舎として業務開始
- 7月 救急者、指令者が入り、救急業務開始
- 10月 タンク車が入り、消防活動開始
- 11月 新庁舎起工式（北浦村小）
- 12月 消防、救急無線局開局

二月までに北浦村でおきた火災救急件数などは、つぎのとおりです。今後、一件でも少なくなるよう交通安全、火災予防に努力しよう。

総出動回数201回

種別	件数	人数
急救出動	19件	18人
急救出動	15件	16人
急救出動	2件	2人
急救出動	1件	1人
合計	37件	37人

総出動回数22回

種別	件数	面積	損害
火災出動	4件	384.2㎡	11,615千円
火災出動	3件	0.8a	100千円
合計	7件	464.2㎡	11,715千円

（二月十一日）